

## 野村ホールディングスの第3四半期決算－赤字だが直ちに格付に影響せず

以下は、野村ホールディングス株式会社（証券コード：8604）の19/3期第3四半期決算についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

当社は、19/3期第3四半期（累計）決算において620億円の税引前損失を計上した。赤字決算の主な要因は、のれんの減損814億円である。これは一時的な要因であり、資本水準も十分なため、JCRは今回の赤字計上のみをもって直ちに格付を見直すことは考えていない。ただし、第1四半期、第2四半期の業績も不振で、のれんの減損を除いてみても利益水準は低い。このまま低調な利益水準が長引くようなら格付にもネガティブな圧力が強まろう。当社は16/3期第4四半期に業績が悪化して赤字となった際、ビジネスの選択と集中を進めてその後利益を回復させている。今回の事態に対しても、ビジネスの包括的な見直しを検討しており、その内容や実効性に注目していく。

（担当）大山 肇・阪口 健吾

### 【参考】

発行体：野村ホールディングス株式会社

長期発行体格付：AA- 見通し：安定的

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル